

**問** 近年の物価高騰による学校給食への影響は。

**答** 令和5年度の給食費値上げの際、令和7年度までの消費者物価指数の上昇を考慮していることなどにより、質を下げることなく給食の提供ができています。

**問** お米の高騰ならびに不足による学校給食への影響は。

**答** 県の公益財団法人を通じて年間購入しているため、給食に必要な量は確保できている。また米飯給食については、今後も現在の回数維持していきたい。

**問** お米は兵庫県の「ヒノヒカリ」を使うとなっているが品質は、また購入価格は。

**答** 例年12月ごろに新米に切り替わる。現在令和6年度産の「ヒノヒカリ」を1キログラム当たり491円で購入している。

**問** 今後も物価高騰が続く給食費を値上げするとなった場合、原則給食費は保護者負担だが、町が値上げ分を負担する考えは。



兵庫県産食材を使った給食

## 学校給食



無所属  
あさはらとしや  
浅原 俊也 議員

**答弁** 物価高騰による給食費値上げは、学校給食審議会で調査審議する

**問** 保護者負担とするかについては、慎重に検討を行いたい。

**答** 安全でおいしい給食を提供するだけでなく、学校給食を生きた教材として学ぶといった「食育」も大変重要と考えるが、本町の学校給食が目指すものは。

**答** 給食を通じて、子どもたちが播磨町への愛着を深め「ふるさと播磨町を愛し、誇りに思える」人づくりを目指したい。

**問** リチウム蓄電池などを使用した製品に起因する、ごみ収集車や廃棄物処理施設での火災事故が各地で発生している。どのように適正な処理や回収を行うのか。

**答** 現在、小型充電式電池を役場やコミュニティセンターなどで回収するための準備を進めている。拠点回収を開始する際には、改めて広報はりまや町公式SNSを通じて広く周知する。

**RSウイルス感染対策を**

**問** RSウイルス感染症は風邪の症状を伴う呼吸器の感染症で、重症化の危険性が指摘されている。日常生活における予防方法、流行状況の周知と注意喚起は。

**答** RSウイルスは主に接触感染と飛沫感染で広がり、流行は夏にピークを迎える。せっけんでの手洗いやアルコール消毒などの方法を、感染流行前に周知する。



蓄電池の適正な回収を

## 蓄電池火災



公明党  
おおたき きんごう  
大瀧 金三 議員

**答弁** 小型充電式電池の回収は役場と各コミセンなどで回収する

**問** RSウイルスワクチンは高額のため、費用の一部補助は。

**答** 長期的な効果は不明であることから、今後の国の厚生科学審議会などの動向を注視していく。

**書かない窓口の導入を**

**問** 多くの自治体で実施している。どうしても窓口での交付を必要とする人には、申請書類を記入せず口頭での手続きはできないのか。

**答** 令和7年度に、マイナンバーカード等から情報を読み取り、申請書に印字できる機器を導入する。

## 判決の影響



チーム新星  
ほそだ たけお  
細田 武男 議員

**答弁** 自治会の負担は自治会と施策を模索する

**問** 福井地裁でのごみステーション使用の判決から、自治会が自治会員以外へ負担を求めることに関して、行政と自治会連合会との協議は。

**答** 本町では、公益性のある活動を自主的に運営している自治会に、さまざまな制度を用意し活用いただいている。本件について、各自治会相互の連絡調整を図り、自治会運営の向上に寄与することを目的とした播磨町自治会連合会とも共有させていただく。



ごみステーションは自治会が管理

**問** 「公共的利益を受ける権利の費用」に非会員と自治会間で折り合いがつかない場合の町の対応は。

**答** 自治会活動に対し、できる限り力添えできるよう努める。

**総合防災訓練は**

**答弁** 各種団体に参加してもらおう

**問** 令和6年度播磨町総合防災訓練で、具体的に何ができたのか、成果は。

**答** 令和5年度の内容に加え、避難所内の通路の作成や簡易テントの展示、仮設トイレの組み立て、災害用伝言ダイヤルの体験や社会福祉協議会によるボランティアセンターの開所訓練などを実施した。さらに、家庭用備蓄の案内など、日頃の備えの啓発を合わせて実施した。

## 食育の推進



チーム新星  
おおきた よしこ  
大北 良子 議員

**答弁** 食生活の改善や子どもの食育は地域と行政で連携して取り組む

**問** 「自治会・シニアクラブ等の地域組織は、活動を通じ、会員の食生活改善に取り組みましょう」とあるが、取り組んでいるのか。

**答** シニアクラブ連合会が生活習慣病の予防のために料理教室を、また日赤奉仕団が災害時にも有効なバッククッキングを開催した。

**問** 成長期の児童生徒たちへの食育指導はどのように進めているのか。

**答** 食育の観点により、令和6年度からは東播磨地域でとれた食材を給食の献立に取り入れている。

## 北古田周辺の今後は

**問** 北古田周辺地区の市街化調整区域の土地利用の今後はどう進める予定か。

**答** 令和7年度は勉強会を開催し、意見を集約していく予定である。

**問** 都市計画マスタープランの策定見直しの中にも盛り込んでいくとあるが、前回との具体的な違いはあるのか。



地域から食の大切さを

**問** より積極的にまちづくりを考える必要があるエリアと受け止め、見直しを行う予定である。

**不登校支援は**

**問** 補正予算で、フリースクールに通う子どもたちへの補助金が可決されたが、民間の施設は何かあるのか。

**答** 県策定のガイドラインには、県内で59の民間施設がある。